

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名	No. 580403 読書啓発事業	主管課名		教育行政課						
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名	小野田幸男					
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	図書館の整備								
(1)事業の概要											
市民の教養・文化の向上を進め心豊かな情操、感性を涵養し事業を行う。 ボランティア団体の育成、団体活動の積極的な受入れ。 定期講座、特別講座の開催。 読書感想文コンクールの実施。 学校における読み聞かせ活動への支援。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
					名 称		単位				
					講座開催数		回				
					児童生徒に感想文を依頼した件数		件				
					その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		・講座・読書コンクールの実施(平成23年9月30日) ・ボランティア団体の育成(毎週土曜日等おはなし会実施) ・子ども一日司書(小学校)平成23年7月22日～27日まで ・職場体験 三好中9/14～16、三好丘中11/29～12/3、南中1/15～18、北中11/15～18									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
講座受講者 児童・生徒					名 称		単位				
					受講者(定員)		人				
					児童・生徒数		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
文学に興味をもってもらう 読書に親しんでもらう					名 称		単位				
					参加者		人				
					児童向け図書(絵本・児童書)貸出数(全館)		冊				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
利用しやすい図書館サービスを充実し、教養や知識を得てもらう					名 称		単位				
					市民1人あたりの図書利用冊数		冊				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		回	16	16	16	16	16	16			
		件	7,663	7,664	7,700	7,700	7,700	7,700			
(6)の対象指標		人	40	40	60	60	60	60			
		人	7,663	7,664	7,700	7,700	7,700	7,700			
(7)の成果指標		人	31	37	60	60	60	60			
		冊	161,085	158,182	156,000	156,000	156,000	156,000			
(8)の結果の成果指標		冊	5.8	5.7	5.8	5.8	5.8	5.8			
(10)予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
(11)コスト	年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)	単位	957	1,060	891	891	891	891				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	62	76	102	102	102				
	一般財源	千円	895	984	789	789	789				
人件費B	千円	5,164	5,260	5,260	5,260	5,260	5,260				
	正職員従事時間×人数	時間×人	280×5	280×5	280×5	280×5	280×5				
	正職員以外の人件費	千円									
その他費用C	千円	58	58	58	58	58	58				
トータルコストA+B+C	千円	6,179	6,378	6,209	6,209	6,209	6,209				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/人	154	159	103	103	103	103				
	千円/人	1	1	1	1	1	1				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580403 読書啓発事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和53年7月 から	市民の図書館活動への関心、期待は、時代の要請であり、積極的に参加して自分の能力や体験を活かしたいという希望もある。しかしながら、そのためのボランティア受入れ態勢環境は十分に整っていない。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
多くの利用者に本を親しんでもらい、知る権利の充足を図るため開始した。		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化している

3 評価 (SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	根拠法令	図書館法	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	理由	この事務を行う根拠又は理由	第2条に基づく
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	拡大	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	追加	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容		市民の参加をうながすためにPRを行い、参加者の増加を図る。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	類似事業名	内容	
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容	

4 改革改善案 (PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	青少年の本離れが顕著な時代であり、高齢化社会に伴い、生涯学習の時代でもある。この先、図書館には、あらゆる年代層を対象にしたさまざまな読書啓発活動、奉仕活動が求められることが予測され、時代や社会を反映した各種の講座開催や障害者の利便をはかるためのボランティア育成、学校や地域との連携を図り、読書啓発事業に取り組んでいく必要がある。					